

北海道NPO情報



発行 北海道情報宣伝研究会
 札幌市中央区北4条西12丁目E
 1976年7月9日第3種郵便物認可
 定価 100円



NPO推進北海道会議
 北海道NPOサポートセンター

【5月号】

市民活動団体を支える社会的支援システムを強化しよう! 【2003年5月発行】



もくじ	ページ
NPOサポートセンターのサポート事業	1
「NPO全国フォーラム 2003 北海道会議へ向けて」	2
介護NPOヘルパー研修開催のおしらせ	3
NPOバンク第3回融資申込みについて	4
道民チャレンジ21世紀ファンド	5~6
北海道のNPO総合情報誌「えぬぴおん」	7
NPOな・・・書籍案内	8
NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会	9
情報BOX・助成金情報	9~10



北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」紹介 新年度改訂版

北海道NPOサポートセンター会員に対するサービス事業です。詳細については個別にご相談に応じますのでお気軽にお問い合わせ下さい。電話011-204-6523

北海道NPOサポートセンターの「サポート事業」一覧 (単位:円)

サポートの内容	詳細	規格・単位	基本料金
NPO法人申請手続 法人申請は時間がかかります。(4ヶ月~6ヶ月)	相談・書類作成等アドバイス(初回相談無料)	基本料金	20,000~
身分証明書作成	ラミネートを使った身分証明書を作成します	1枚	200
印刷(予約制)	簡易印刷機(リソグラフ)で印刷します	片面 B5 1000枚	2,500
黒インク印刷のみ (カラー印刷、製本等は良心的な印刷所を紹介)	紙代込みです。(100枚以上~) (厚紙や色紙は少し高くなります。ご相談下さい) A3まで印刷可(両面は片面の倍)	片面 A4 1000枚	2,500
		片面 B4 1000枚	3,000
		片面 A3 1000枚	3,500
名刺作成	パソコンで名刺を印刷します(100枚単位) 片面初版代:300円、両面初版代:500円が別途かかります	片面 カラー	1,400
		片面 白黒	1,000
		両面 カラー	2,200
		両面 白黒	1,800
横断幕・ポスター	パソコンで長尺紙(幅45cm)に印刷します	片面のみ	1,000~
シール	NPOのロゴマークシール 1シート	大5枚、小10枚各	200
エプロン	ロゴマーク、事業所名を入れてエプロンを作ります	5枚以上 1枚	4,300
日常会計業務支援	パソコンで、伝票入力から決算書作成まで実施	基本料金(1仕訳)	60~
介護保険・支援費指定事業所 申請事務サポート	指定事業所になるための支庁・市役所提出書類作成、提出までのサポートを行います	介護保険 1事業所	10,000~
		支援費 1事業所	7,000~
介護保険料請求事務	伝送による介護保険請求をします	1事業所	2,500~

上記の表以外に、不動産売買・賃貸、税務申告、登記書類作成、損害保険、FP関係について、NPOサポート専門家会議メンバーによる相談を随時受け付けております。(休日スタッフがご聞きし専門家にお伝えします)

法人認証申請書類、登記書類、会計書類、税務申告、介護保険申請等は、必要に応じてNPOサポート専門家会議メンバーの専門家のアドバイスをいただいています。

NPOサポート専門家会議は、弁護士、司法書士、社会保険労務士、行政書士、公認会計士、税理士、損害保険専門家、不動産専門家、建築士、社会福祉士、FPなどの専門家が参加しています。

「NPO全国フォーラム 2003 北海道会議」へ向けて（9月まで連載の予定） その2 9月13日（土）、14日（日） さっぽろで会いましょう！

今回は、フォーラムの内容についてお伝えします。

フォーラムの内容については、この間の実行委員会で話し合いを重ねてきました。ここでは、フォーラムの大枠を話し合い、それぞれの担当を決め、テーマごとに内容を詰めるという作業を行いました。第3回実行委員会（5月10日予定）では、いよいよその骨組みが決まります。テーマは、1「地域改革」、2「地域連携」、3「事業ミッション」、4「情報」、5「人材」、6「資金源」、7「法制度」、8「NPO基礎講座」、9「協働」で、1～7についてはセミナーを受けてから分科会で話し合うという流れで、8～9については、2日間連続セミナーの形で進めます。詳細については、次号でお知らせの予定です。

5月10日の実行委員会の後、募集要項の作成に入ります。募集については、6月末～7月初旬の予定でいます。道内のNPO活動と観光地を巡るフィールドワーク・若者広場なども別枠で企画中です。（担当：津田）

NPO全国フォーラム北海道会議実行委員は次の方達です。9月までよろしくお願いたします。

（2003年5月現在） =幹事 =事務局

浅野目祥子(手と手)・太田こずえ(飛んでけ！車いすの会)・太田昇(帯広NPO28サロン)・小野美貴子(ねおす)・小田千春(学生)・小林董信(北海道NPOサポートセンター)・佐藤ゆみ子(コンカリーニョ)・佐藤隆(NPO推進北海道会議)・三膳時子(霧多布湿原トラスト)・嶋明美(北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会)・篠田理香(札幌チャレンジド)・清野光彦(北海道介護NPO連絡会)・惣井田敏行(旭川NPOサポートセンター)・田口晃(NPO推進北海道会議)・谷井貞夫(北見NPOサポートセンター)・竹田由希(札幌・障害者活動支援センターライフ)・田尻佳史(日本NPOセンター)・千葉泰嗣(北海道NPOサポートセンター)・津田祥子(北海道NPOサポートセンター)・中山慶一(インフォメンター)・鳴海忍(NPO推進道南会議)・新田英理子(日本NPOセンター)・平賀貴幸(夢の樹オホーツク)・日置真世(地域生活支援ネットワークサロン)・秋江昌浩(シニアマスターズネットワーク)・正村紀美子(子育てネットワークとかち)・丸藤競(NPO推進道南会議)・森田裕子(旭川NPOサポートセンター)・山田雄太(地域づくりフォローアップ)・吉村八重子(北海道ワーカーズ・コレクティブ連絡協議会)・米地崇(ホームヘルパーノア)

<オブザーバー参加> 山本幹彦(当別エコロジカルコミュニティ-)・波多野耕(地域生活支援ネットワークサロン)・北海道生活振興課・道立市民活動促進センター・札幌市市民活動促進担当課



NPO研修日記 その1

やすし
千葉 泰嗣

まずは、自己紹介ですが、北海道NPOサポートセンターに1年間研修に来ました北海道職員の千葉泰嗣です。

北海道職員と言ってもピンからキリまで仕事があり(「忙」から「楽」という感じです)多種多様な業務があります。正直、NPOに関連する業務でもなかったものですから、知らなかったというのが現状です。NPOっ。・・・ボランティアの延長上のものかというイメージでございました。

行政の仕事というのは、一部専門的な分野があるものの、ほとんどの業務が画一的なシステム、要は転勤しようが異動しようが初めての仕事であろうが、今まで通り対応できるシステムとなっています。(理想的にはですので、なかなか苦労はあるのですが。)

通常業務を人にこだわることなく実施することができるというメリットもありますが、個性がないというデメリットもあります。行政=組織、新しいものを創出することは難しいけれど、定まったことを的確に継続することには適しているといえると思います。

NPOはどうでしょうか。まだ1ヶ月ですが、個々というか個人(個性)の集まりがたまたま組織として形づいたものという感じを受けました。何らかの社会的使命の実現や新しい社会システムの構築など、多様化・個別化した地域の公益的な課題に対して対応すべく、個人の意志の集合体がNPOという感じを受けました。当然、事業等を展開する上では資金が必要ですが、それにもまして個々の意志の力がNPOを推進している。そんな感じです。

自分でやりたい活動を仕事として行っている。その人達の顔は生き生きしておりますし、仕事に取り組む姿勢も違っております。んーっ、考えさせられました。

1ヶ月経過したばかりですが、ますます勉強してがんばりたいと思います。皆様、よろしくお願いたします。

介護NPOヘルパー研修開催のお知らせ

北海道新聞社会福祉振興基金助成事業

昨年に引き続き「介護NPOアンケート」を実施し、回収率66%で現在結果をまとめています。アンケートの内容については、ほぼ昨年と同じような質問項目を設定し、いま1年間の比較をしているところです。新たな項目として「ヘルパー研修について」聞きました。結果、「研修の必要性を強く感じ、なおかつ予算化しながらも日常業務に追われ事業所内研修で終わっているところがほとんど」という実態が分かりました。この先、ヘルパーのスキルアップは重要と実感し、今回、道新福祉基金の助成を受け、道内各地での研修を企画しました。せっかくの機会ですから事業所の中での日程調整をして是非ご参加下さい。参加の申し込み等については次号でお知らせします。
(担当:津田)

研修の内容について(講師については現在交渉中、内容はすべて予定です。)

- A 1日コース(午前10時~午後4時まで)
日 時:2003年6月29日(日)または28日(土)か27日(金)のいずれか
場 所:未定(釧路)
内 容:午前「地域の中での介護NPOの役割について」午後「ヒヤリ・はっとの対応について」
- B 1日コース
日 時:2003年7月7日(月) 場所:未定(函館)
内 容:午前「NPOで働く」午後「ヒヤリ・はっとの対応について」
- C 1日半コース
日 時:2003年6月22日(日)~23日(月)
場 所:未定(層雲峡温泉など)
内 容:1日目 午後「支援費制度と移送サービスについて」
2日目 午前「ヒヤリ・はっとの対応」 午後「地域の中での介護NPOの役割について」
- D-1 3日コース(前半、1日半)
日 時:2003年6月15日(日)~16日(月) 場所:未定(定山溪温泉、朝里川温泉など)
内 容:1日目 午後「個別対応の食事づくり指導」
2日目 午前「ヒヤリ・はっとの対応」 午後「最近の介護事情」
- D-2 3日コース(後半、1日半)
日 時:2003年7月27日(日)~28日(月) 場所:未定(定山溪温泉、朝里川温泉など)
内 容:1日目 午後「支援費制度と移送サービスについて」
2日目 午前「介護NPOの役割について」 午後「個別対応の食事づくり指導」

財団法人まちづくり市民財団研究交流事業 / 主催:北海道NPOサポートセンター
北海道地区5地区巡回フォーラム(予告)
市民活動を行いやすい環境づくり

財団法人まちづくり市民財団の助成を受け、全道各地での「市民参加によるまちづくり」を進めるため、「市民活動を行いやすい環境づくり」をメインテーマに、6月~7月にかけて下記日程で実施します。各地のサポートセンター及び活動団体と連絡を取りながら内容を詰めているところです。

このフォーラムは、2000年に東北地区5県と中国地区5県、2001年に中部地区5県、2002年は九州・沖縄5県で実施されてきました。各地でのフォーラムの内容については次回のNPO情報でお知らせをいたします。
(担当:津田)

6月21日(土) 旭川 大雪クリスタルホール第3会議室
6月29日(日) 釧路 まなぼつと幣舞6階601
7月 6日(日) 函館 総合福祉センター
7月12日(土) 北見 北見芸術文化ホール中練習室
7月26日(土) 帯広 とかちプラザ403会議室

＜すべての会場共通＞	
予定時間	13:00~16:00
対 象	市民、NPO、企業、 行政
参加人数	30人程度

募集締切り迫る!

NPOバンク第3回融資申し込みについて

4月14日(月)から5月16日(金)融資申込みの受付を致します。

融資実行は6月中旬の予定です。

関係書類を取りまとめのうえ、郵送(配達記録)若しくはNPOバンク事務局にご持参ください。

融資募集に関してご相談・ご不明な点がありましたらお電話又は下記E-mailアドレスにてご連絡ください。

NPO法人北海道NPOバンク

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

TEL 011-204-6523

FAX 011-261-6524

URL http://npo-hokkaido.org/bank_hp/

〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目ウカビル2F

北海道NPOサポートセンター内(担当:北村)

札幌チャレンジド・就労支援制度の設立について

札幌チャレンジドは、3年前の発足以来、その設立の趣旨の一つに自立を目指すチャレンジド(障害をもつ人)の就労支援を掲げてきました。この間、多くのチャレンジドからITを活用した在宅就労を求める声を受け、徐々にではありますがその実例を積み重ねるとともに、ニーズに応えられる技術をもったチャレンジドの養成にも取り組んできました。

この度、チャレンジドの就労支援をより一層推し進めるために、「就労支援制度」を設立致します。ITの技術を活かし、ITを武器としてチャレンジドが社会参加できるような就労の場を作りたいと考えています。関係各位の方々のご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

<登録を希望される方は>

1. スキル登録 チャレンジドがもつスキル情報を登録する登録システムを設けます。なお、当面、北海道在住者のみの登録とさせていただきます。作業所等の団体としての登録も可能です。札幌チャレンジドのホームページ上から登録をして下さい。
2. 就労メーリングリストの開設 スキル登録者は同時に就労メーリングリストに参加していただきます。仕事の発生の都度、その仕事の担当を希望するチャレンジドをメーリングリストにより募ります。希望者の中から適切なメンバーを札幌チャレンジドが選定します。
3. お客さまとの関係 お客さまからの仕事は、札幌チャレンジドが受注し、札幌チャレンジドのメンバーとして各チャレンジドにその仕事を分配します。各仕事は基本的にはグループワークとして進めます。仕事の全体管理は、札幌チャレンジドが責任をもって行います。

<仕事の受注について>

企業・行政・団体の皆様におかれましては、上記の趣旨をご理解いただき、札幌チャレンジドへの仕事の発注をお願い申し上げます。

NPO法人 札幌チャレンジド

TEL 011-261-0074

FAX 011-261-6524

E-mail challenged@npohokkaido.jp

URL <http://www.npohokkaido.jp/challenged/>



道民チャレンジ21世紀ファンド 【資料室/リンク集/活動カレンダー】

<http://www.with.pref.hokkaido.jp/challenge/>

市民活動団体情報（欲しい支援の情報）/ 支援情報（さまざまな社会資源を提供する研究機関、企業、NPOが発信する情報）提供/ イベントカレンダー、電子掲示板（いまのところイベント情報が多い）、電子会議室などを開設しています。イベントカレンダーには各種イベント情報がたくさん掲載されています。（4月の情報45件、5月情報24件）リンク集もNPO支援団体、情報提供団体、助成団体中心に充実を図っています。お立ち寄りください。掲示板/活動カレンダーを有効にお使いください。

問い合わせ npo@mb.infosnow.ne.jp 担当・畑

NPO推進北海道会議・北海道NPOサポートセンターから2003年度会費納入のお願い

このニュースは会員のみなさまからの会費で作成し配送しています。4月から新年度になりましたので2003年度の会費の納入をお願いいたします。NPO推進北海道会議/NPOサポートセンターは、北海道内でのNPO活動の促進のため、役割分担して活動しております。主旨をご理解の上、引き続き会員としてご参加いただくようお願いいたします。

【NPO推進北海道会議】 1995年設立。NPOを広めるための広報活動、フォーラムやシンポジウムなどの開催、NPO市民講座の開催、行政との連携、政策提言活動、情報の提供活動を行っています。

会費 個人 一口 2,000円
団体 一口 5,000円

【北海道NPOサポートセンター】 推進会議の活動をさらに広げるかたちで、1998年3月に設立。推進会議の活動が主にNPOを広めるのに対し、サポートセンターでは市民活動団体からの相談や、法人格取得に関する具体的なアドバイス、NPO法人連絡会の開催、NPO法人の実務サポート等を行っています。

会費 個人 一口 3,000円
団体 一口 10,000円

推進会議、サポートセンター両方の会員になって頂いても結構です（大歓迎です。）

郵便局口座番号：02760-8-9885

また、サポートセンターを育てていくための支援をいただけるかたは「NPOサポートセンター育成委員」になってください。会費 一口 10,000円

会員にまだなられていない方は、ぜひこの機会に会員になってください。会員の方は会費納入をお願いいたします。（行き違いがありましたらご容赦下さい）

「会員にはならないが、ニュースは購読する」という方には購読料をお願いしております。

購読料 年間(4月号～翌年3月号分)2,000円

特定非営利活動促進法に基づくNPO法人申請受理数・認証数（暫定数）

全国で認証数が1万件を突破しました。北海道は全国第4位ですが、千葉県が急速に増加中で、早晩ぬかれそうです。

北海道（道庁）では、インターネットで情報提供しています。

<http://www.fureaizaidan.or.jp/nposearch/index02.html>

認証数の多い県 東京2252、大阪864、神奈川622、北海道402、千葉390、福岡354、兵庫326、

	全国の申請受理数「北海道含む」 【3月1日現在】 (内閣府のホームページ)	受理数	認証数	不認証数	解散数	
京9		12056	10664	43	79	都20
2	道内の申請受理数 【3月1日現在】(北海道)	438	402	0	1	愛知90、 静岡

267、埼玉259、群馬207、長野175、三重171、宮城160、広島157



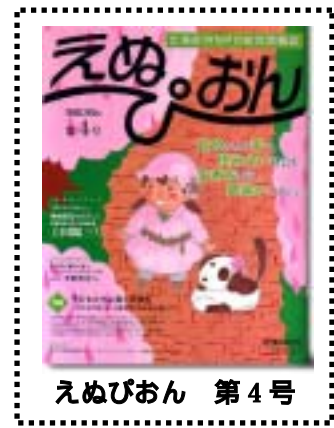
北海道NPOサポートセンターが発行する

北海道のNPO総合情報誌[えぬぴおん]

偶数月月中旬発行

第4号(4月14日発行)の主な内容

グラビア 石狩市子ども環境会議 アリソン・オパソン コンサート&トーク BEYOND THE REMIX
 フロントインタビュー 上田陽三さん(札幌学院大学大学院教授)
 現場百景 エーピーアイ・ジャパン/旧小熊邸倶楽部
 この人に会いたい! 皆が同じ場所に集う 木野哲也さん
 それゆけNPO! コミュニティ形成の場作りネットワーク作りを目標に おらがコンカリプロジェクト
 道内トピックス
 HPコンテスト in いしかり
 さっぽろ地球村
 「持続可能な開発のための教育」ネットワーク・ミーティング
 さっぽろ自由学校「遊」
 特集...子どもたちに夢と希望を
 北海道子どもの虐待防止協会
 北海道子ども学会
 子どもの権利ネットワーク南北海道など
 カルチャー
 music/ちば かよこ さん
 BOOK・映画・演劇・舞台など
 「市民活動ステップアップ講座」 NPO広報クリニック
 全国版NPO紹介...「みなとNPOハウス」
 NPOニュースSP 変わるNPO法 公益法人法改革
 道内サポセン情報
 インフォメーション



定価: 800円(税込)

(年間郵送購読予約受付開始: 氏名、送付先郵便番号・住所、連絡先電話番号明記の上

FAX: 011-261-6524まで。6号分送料込み(税込み)5,760円)



「えぬぴおん創刊号」2002年10月1日創刊! AB版・72ページ 街頭インタビュー「NPOって、知っていますか?」

大通公園で聞きました <トップ対談>北海道経済産業局・高橋はるみ局長 vs 北海学園大学助教授・樽見弘紀さん 「NPOが北海道を変える」<この人に聞きたい>「北海道から新しい波を起こすために」宮田昌和さん(元BizCafe 運営会議議長) NPO現場百景ノ・札幌チャレンジド・シーズネット・北海道子育て支援ワーカーズなど 最前線: DPI 世界大会直前情報 特集/NPOが提案する「総合的な学習の時間」ほか。

「えぬぴおん第2号」2002年12月10日発行 グラビア 国際協力フェスタ/NPO・NGOスタッフトレーニング/DPI世界会議 <フロント対談>田中康夫(長野県知事) vs 逢坂誠二(ニセコ町長) 特集「高齢者を元気にする地域コミュニティ」シーズネット岩見太市代表と札大の佐藤都夫先生の対談ほか。

「えぬぴおん第3号」2002年2月20日発行 グラビア 1・17災害救済ネットワークコンサート/札幌子ども会議/市民活動フォーラム <フロント対談>香山リカ/逢坂誠二 <この人に会いたい!>東原太陽グループ社長! ほか。えぬぴおん ¥800(税込み)バックナンバーについてのお問い合わせは北海道NPOサポートセンター(TEL011-204-6523)まで。

書籍案内

ボランティアと農協

発行/日本経済評論社/定価¥2,600+税

古い非営利組織は、ボランティア・NPO論を踏まえ、介護保険対応の新事業を創るプロセスを活写。未活用のモノ、ヒト、とりわけ出番のなかった女性のパワーが、組織を変える。本書はわが国の農業協同組合(農協)高齢者福祉事業という新しい事業を非営利組織の中に位置づけ、捉えようとするものである。



ただし、新事業がこれまでの農協事業の延長線上に生まれたという位置づけではない。古い組織である農協の内部から今までの事業と質の異なる高齢者福祉事業が生まれる過程に注目したい。言い換えるならば、農協という揺籃(ゆりかご)から、NPOに通じるような新たな組織形態・事業方式を有する新分野が想像されるプロセスを分析し、その契機とエネルギーを明らかにするものである。

[問合せ]北星学園大学 TEL011-891-2731
E-mail naokotab@hokusei.ac.jp
NPO法人越智基金の監事の田淵直子さん
(北星学園大学助教授)
の著書です。

新刊案内

『ぜ～んぶまるごとNPO』

- すいすい読めてよくわかる -

発行 NPO法人北海道NPOサポートセンター
定価 400円(税込み)

これからNPO法人格取得を考えている団体におすすめ。

(目次)

- 市民活動とは
- 法人格取得の申請手続き
- NPOと法制度の現状
- 会計、事業報告、税務について

資料編として、

- ・特定非営利活動促進法(平成15年5月1日施行版)
 - ・特定非営利活動促進法施行規則(同)
 - ・特定非営利活動促進法施行条例
 - ・申請に必要な書類(ひな型)
- を掲載しています。

[問合せ]

北海道NPOサポートセンター
TEL: 011-204-6523
E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp



NPOな...

『さっぽろ会議室のほん』改訂版

A5判(66ページ) 定価 400円(税込み)

市民活動団体等が会議や講演会などを実施するに当たってのお助け本『さっぽろ会議室のほん』が改訂されました。札幌市内の貸し会議室の最新情報を掲載。利用時間、料金、休館日、交通機関、申込方法など、使いやすく編集されています。

また、旧『さっぽろ会議室のほん』(ホール、イベント会場、ホテル情報も掲載・500円)と改訂版併せてご購入の方には2冊組800円で販売しています。



[問合せ]

北海道NPOサポートセンター
TEL:011-204-6523
E-mail
npo@mb.infosnow.ne.jp

**「介護保険・福祉サービス
事業所ガイドブック」**

A4判(406ページ) 定価2,000円(税込み)

本誌の内容は、サービス提供地域・時間、人員体制、利用料、系列サービスなど情報が満載です。市内事業所1180箇所(一部市外含む)を掲載しており、介護保険事業所は在宅・施設サービス、対象外事業所は在宅系のホームヘルプ、理美容、配食、ミニディ、移送、施設系の養護老人ホームなど各事業所を網羅。充実したガイドブックとなっています。



[問合せ]

北海道NPOサポートセンター
TEL:011-204-6523
E-mail
npo@mb.infosnow.ne.jp

NPO/NGOに関する税・法人制度改革連絡会 2003年度総会に行ってきました

(報告:津田)

この連絡会は、NPO/NGOがいつでも自由で自立的な社会貢献活動をおこなえるよう、民間非営利団体に関する法人制度および税制度を改正していくために、NPO/NGO支援団体の全国的な運動を連絡調整することを目的にできた連絡会です。この連絡会の総会が、4月25日東京で行われ、全国から40団体ほどの代表者が集まりました。総会は、2002年度の活動報告・主に認定NPO法人制度の改正に向け、全国的な署名活動、国会への要望活動、政府への要望活動など(法改正については下記にその一部を表示)について報告され、2003年度の活動方針については活発に意見交換がなされました。

NPO支援税制に関する要望事項、および改正結果から、「認定NPO法人制度全体に関するもの」として8項目で要望を出していましたが、結果「法人税法上の収益事業から、特定非営利活動に係る事業で非収益事業(税法上)に対して支出した場合は、収益所得の50%までをみなし寄付金控除にできるようにする」については、「**みなし寄付金制度創設。20%までをみなし寄付金として控除できる。**」となり要望項目ほぼ実現で、他7項目については要望したにもかかわらず改正ならず。「認定要件に関するもの」として要望していた21項目の内、「算定寄付金の基準限度額は、受入寄付金総額の2%となっているが、総収入金額等の2%とする。もし、受入寄付金総額を基準とするならば、5%に限度額を上げる。」「広域性の要件は撤廃する」については、それぞれに「**基準限度額は、受入寄付金総額の5%に緩和**」「**広域性の要件は撤廃**」と**要求項目完全実現**。「総収入金額等に占める受入寄付金総額等の割合を5分の1以上に、また、初回の認定においては、10分の1以上に緩和する」については、「**受入寄付金等の割合は5分の1以上に緩和。ただし、2003年から3年間の時限つき**。」「海外に送金する場合の事前届出は一定金額以上(例えば500万円以上)にする。それ以下の金額の送金の場合は、一年間まとめて事後届け出とする」については、「**200万円以下の海外送金や海外持ち出しについては、年度終了後の一括報告で済むように変更**」で、ほぼ実現。その他、4項目についてが一部実現。その他の項目については改正ならずで終わりました。この結果は、10月・11月の2ヶ月間で、連絡会参加の団体が中心になって全国16箇所で開催されたキャンペーン(北海道では11月15日実施・80名参加)と、改正に向けた「声」が届いた結果でもあり、黙っていても変わらないということです。改正については不十分で、これからも状況に応じた継続した運動が望まれます。

NPO推進北海道会議・北海道NPOサポートセンター 通常総会のご案内

NPO法人NPO推進北海道会議・北海道NPOサポートセンター第3回通常総会を下記の通り開催いたしますので、ご出席下さい。会員の皆様には近日中に議案書をお送りします。

日時 2003年5月30日(金)18時30分～
会場 札幌市中央区民センター 2階会議室「つどいA・B」
札幌市中央区南2条西10丁目(北海道NPOサポートセンター西隣り)

フォーラム「札幌のまちづくりを考える」へのお誘い

みなさんご存じの通り、統一自治体選挙が終了しましたが、札幌市長選挙は異例の再選挙となりました。北海道NPOサポートセンター理事長の上田文雄さんは、172,512票を獲得して比較第1位の得票でしたが、有効投票の25%に達せず、再選挙となりました。上田さんは6月8日の再選挙に立候補表明し、市民に政策を訴える活動をしています。

こうした中、少し落ち着いて札幌市政について考えるフォーラムが企画されましたので、ご案内します。
(小林董信)

日時 5月10日(土)19時～20時50分
会場 札幌市民会館3階 第6会議室(札幌市中央区北1条西1丁目)
電話 011-241-9171
【次第】・呼びかけ人挨拶 嶋田浩彦(道央圏政策研究会)
・対談 上田文雄(北海道NPOサポートセンター理事長・弁護士)
森 啓(北海学園大学法学部教授)
・市民からの提言と意見交換
主催:札幌のまちづくりを考える会実行委員会
代表 遠藤 敏光(市民参加を考える会)
嶋田 浩彦(道央圏政策研究会)
連絡/問合せ先 電話 011-592-3555 (遠藤)

情報BOX

NPO法人 葬送を考える市民の会主催
各種講座・講演会等

講演会「終末期医療とは」

終末期医療は、私たちが受ける最後の医療となり、その医療は「患者の間らしい、その人なりの終え方に力を添え、お見送りをする」という重要な役割を持ちます。

自分は、どう終末期を過ごしたいかを、医療者に的確に伝えるための方法を学びましょう。スライド等を見ながら説明していただきます。

日時 2003年6月1日(日)
13:30～15:30

場所 かでる2・7 視聴覚室
(札幌市中央区北2条西7丁目)

講師 上森 裕子さん
(恵庭・千歳生と死を考える会代表)
大沼 法友さん
(市立千歳市民病院 内科医長)

参加費 1,000円(会員900円)

平岸霊園見学会

葬送を考える市民の会では、合同納骨塚や納骨堂等を見学し、担当の方から説明をしていただくという企画を毎年1回行っています。ご覧になったことのない方は、この機会にどうぞご参加ください。

日時 2003年6月7日(土) 午後1時 集合

集合場所 地下鉄南北線「南平岸」駅改札口

見学先 札幌市平岸霊園
(豊平区平岸5条15丁目1-1)

*自家用車でお越しの方は、平岸霊園管理棟前集合

講習会「旅立ちの衣装は手づくりで」

自分らしく生き自分らしく人生を終えたい...そう考える方が増えています。その流れの中で、従来の型にはまった葬儀も見直されつつあります。

自分らしい最期を迎えるために「死装束」について考えてみませんか。手持ちの着物で「旅立ちの衣装」を作る講習会を行います。着物のほどこき方、裁ち方、簡単な縫い方をお教えます。

日時 2003年6月21日(土)
10:00～14:00

場所 札幌市社会福祉総合センター
(大通西19丁目
地下鉄東西線「西18丁目駅」1番出口)

参加費 3,000円(お弁当付)

講師 斎藤弘美(楽・楽・楽工房)
15年程前から札幌で手染め服のアトリエを主宰。

8年前に「手作り店・ほうきぼし」を設立し、和服のリフォームなども手がける。葬送を考える市民の会が行なった「模擬葬」で、旅立ちの服を制作。

【申し込み・問い合わせ】

葬送を考える市民の会(261-6698)

おはなしの森小劇場「ブレーメンの音楽隊」

日時 5月24日(土) 11:30～14:00～

場所 りとるわんコミュニティホール
札幌市白石区本郷通6丁目2-1-101
地下鉄東西線「南郷7丁目」駅
下車徒歩7分

入場料 子ども(3歳以上高校生以下)300円
おとな 500円

問合せ グループ森
TEL 011-780-7112(共育舎と共通)
ぶっくはうす りとるわん
TEL 011-860-1325

札幌チャレンジドのホームページを5月10

日からリニューアルします。ぜひご覧いただいて、感想・ご意見などお寄せ下さい。なお、URLはかわりません。

URL <http://www.npohokkaido.jp/challenged/>

助成金情報

平成15年度「水域環境をめぐる学習活動等の成果公表支援」事業

NGO・NPO・市民グループ活動の成果公表のための費用を助成

助成金額 上限100万円

募集期間

2003年5月1日(木)～6月2日(月) <必着>

申請書の申込方法

申請書の申し込みは、電話にて連絡。

問い合わせ先

財団法人日本科学協会「水域環境をめぐる学習活動等の成果公表支援」係

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2
日本財団ビル5階

TEL 03-6229-5365 FAX 03-6229-5369

E-mail jss@silver.ocn.ne.jp

URL <http://www.jss.or.jp/>

北海道NPOサポートセンター / NPO推進北海道会議 / NPOバンク / NPO越智基金

札幌市中央区南2条西10丁目クワガタビル2階

電話番号 011-204-6523 FAX番号 011-261-6524

通常業務時間 10:00～18:00(土、日、祝日は休む時があります)

事務所には、「葬送を考える市民の会」と「札幌チャレンジド」の2団体が同居しています。

公益信託富士フィルム・グリーンファンド

応募資格 活動助成を申請するもの、または団体は身近な自然の保全や、自然とのふれあいを積極的に行っていること。研究助成を申請するものは、身近な自然環境の保全・活用の促進に関する具体的な研究や、ふれあいの場としての緑地の質的向上を目指した実証研究等を行っていること

特定助成金額と件数

3件程度、総額650万円を予定

応募締切 平成15年5月19日

助成金の支給 平成15年8月末を予定

問合せ先

財団法人 自然環境研究センター

募集要項・申請書等は、助成基金名・住所・氏名を必ず記入して、ハガキまたはFAXで下記へ請求。

〒110-8676 東京都台東区下谷3-10-10

財団法人自然環境研究センター

公益信託 助成基金担当

TEL: 03-5824-0960 FAX: 03-5824-0956

担当: 小出・植村・菰田(こもだ)

「知恵のネットワーキング」

- 地域づくり活動支援助成2003 -

対象となる団体

地域密着型で地域を元気にし、魅力あるものにしていく活動に取り組む住民主体のグループ・団体(特定非営利活動法人を含む)。

助成金額と対象件数

1件あたり50万円を限度とし、15件程度を予定しています。

助成期間

2003年7月1日～2004年3月15日までの9ヶ月間とします。

公募期間

・応募要項等請求期間

2003年4月11日(金)～5月13日(火)

・申込み受付期間

2003年4月21日(月)～5月21日(水)

* 応募要項・応募用紙の請求は郵送で。

問合せ先

財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団

〒107-0052 東京都港区赤坂1-5-11

新虎ノ門ビル5階

「知恵のネットワーキング」係

TEL 03-3586-4869

<http://www.tokyoweb.or.jp/housingandcommunity/>

地域福祉を支援する第15回「わかば基金」

支援対象

地域で活発な福祉活動をすすめているグループを対象とします。

支援金額

1グループにつき上限70万円、およそ15グループを支援する予定。

申し込み方法

申請書の「記入上の注意」をよく読んでから、

申込書(ダウンロードができます)に必要事項を漏れなくご記入のうえ、NHK厚生文化事業団および各支局へお申し込みください。

* 郵送のみ受け付けます。(FAX・メール受付不可)

締切 2003年6月27日(金) 必着

郵送のみ

その他

・支援先に選ばれたグループには放送等の取材に協力していただく場合があります。

・年度内に支援金使途を含めた活動報告書を提出していただきます。

問合せ先

NHK厚生文化事業団 わかば基金事務局

TEL 03-3481-7855

URL <http://www.npwo.or.jp>

「新しい世紀の社会づくり」をテーマとした 市民活動助成

<助成の対象>

1. 高齢者が活動する市民活動団体
2. 高齢者の医療・保健・福祉、まちづくり等、高齢者を対象とする市民活動を行う団体

助成期間および金額

1年間。原則として1件当り100万円。助成額については活動内容および規模により査定。

応募締切日 2003年7月31日(木) 必着

助成金振込 2003年11月中旬予定

問い合わせ・申請書類送付先

財団法人 ユニバール財団

〒160-0004 東京都新宿区四谷2-14-8

YPCビル5階

TEL 03-3350-9002 FAX 03-3350-9008

NPO法人 NPO推進北海道会議

代表理事

田口晃(北海道大学教授)

上田文雄(弁護士)

杉岡直人(北星学園大学教授)

杉山さかえ(北海道グリーンファンド理事長)

横山純一(北海学園大学教授)

事務局長 佐藤隆

NPO法人 北海道NPOサポートセンター

理事長 上田文雄(弁護士)

事務局長 小林董信

〒060-0052 札幌市中央区南2条西10丁目
クワガタビル2F

TEL (011)204-6523 FAX(011)261-6524

E-mail npo@mb.infosnow.ne.jp

URL <http://npo-hokkaido.org>